

## 柔道整復科

## 脱臼理論

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	有山敦士			実務経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				

## 授業概要

部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。

## 到達目標

柔道整復師として臨床現場で遭遇する上肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践しできる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目的とする。

## 授業方法

発生機序、症状、合併症、後遺症、続発症、整復方法、固定法及び期間を学び理解する。またグループを作成し、牽引のかかり方、方向性などをディスカッションしながら自ら考えていくことも行う。

## 成績評価方法

## 定期試験による評価

## 履修上の注意

医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。

## 教科書教材

教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	頸関節脱臼①
第2回	頸関節脱臼②
第3回	頸関節脱臼③

第4回	鎖骨の脱臼①
第5回	鎖骨の脱臼②
第6回	鎖骨の脱臼③
第7回	鎖骨の脱臼④
第8回	前半振り返り
第9回	鎖骨の脱臼⑤
第10回	鎖骨の脱臼⑥
第11回	肩関節脱臼①
第12回	肩関節脱臼②
第13回	肩関節脱臼③
第14回	肩関節脱臼④
第15回	後半振り返り